

ウクライナ物流情報について

報道の通り、2月24日にロシアがウクライナに侵攻しました。ウクライナ各地の軍事施設への空爆や、首都キエフの空港を巡るロシア軍とウクライナ軍の戦闘が始まっています。本号では、現地の弊社クレームエージェントから入手したウクライナの物流情報についてお伝えします。

現地物流施設の稼働状況

弊社クレームエージェントの Eurogal 社が Ministry of Infrastructure of Ukraine 公式ウェブサイトで確認した情報(日本時間2月25日00時05分時点)は、以下の通りです。

- 港湾施設 : ほとんどすべての港が閉鎖しているが、設備の被害は確認されていない。
- 空港 : すべての空港が閉鎖している。
- 鉄道 : 多くの鉄道が停車中の安全対策を講じながらスケジュール通り運行を継続している。
危険な地域から市民が避難するための特別列車も運行している。ウクライナ国外から同国を経由する鉄道の一部は、運行停止やポーランド・ベラルーシ・トルコ等への迂回を検討している。
- 通信・送金 : 首都キエフでは、電話、インターネット通信には問題ない。銀行送金も可能である。

また、アゾフ海と黒海をつなぐケルチ海峡がロシア軍によって封鎖されており、100隻以上の商船が同海峡を通過できないため、ウクライナの主要港であるアゾフ海に面したマリウポリ港と黒海に面したオデッサ港が機能しない状況となっています。

弊社のウクライナのクレームエージェントは、在宅で業務を継続していますが、物流オペレーションは殆どが停止していて、非常に緊迫した状況にあるようです。



アゾフ海、黒海周辺(Google Map に加筆)

本件に関連して貨物に損傷が確認された場合には、まずは弊社コマース損害部または営業課、及び弊社 HP でご案内しております各国エージェントまでご一報頂きますようお願い致します。



【出典】東京海上日動 HP

https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/songai/kamotsu/kyodo.html

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。
編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。



マリントピックス バックナンバー